

議会だより



命・
を・
守・
る・



防災
訓練



Protecting Lives: Disaster Preparedness Training in Yamanakako Village

(表紙説明 P.14)

令和7年9月定例会

TOPICS!

令和6年度の決算	P.2
9月定例会一般質問	P.8
山中湖村の歴史「過去の災害」	P.12

未来に向けた財政運営につなげるために

山中湖村の決算を認定

令和7年9月定例会で決算審査特別委員会を設置し、議案第51号・52号を付託審査のうえ本会議で認定しました。



※ 決算認定って、な～に？

議会だよりNo.41・P2「いっしょに学ぼうVol.6」をご覧ください。



No.41
令和6年
9月定例会

● 決算審査特別委員会 報告

羽田浩委員長

2議案を審査の結果、予算執行実績、運営は適正と判断し「決算は認定すべきもの」と決定しました。しかし、決算は終わったことではありません！執行部には各委員からあがった課題や問題点をしっかり捉え、今後の村民の皆様のための事業に反映をお願いします。



議案 第51号

令和6年度山中湖村一般会計・特別会計歳入歳出決算認定

一般会計と5つの特別会計の総額

歳入 **73億3799万3千円**

〔前年度比 5398万円 減↓〕

歳出 **74億5178万3千円**

〔前年度比 3372万円 増↑〕

※基金現在高や決算の詳細は、広報やまなかこ（令和7年10月号・P8～9）をご覧ください。▶



議案 第52号

令和6年度山中湖村公営企業会計決算認定

令和6年度、特別会計から移行した2会計の初年度の経営成績

事業会計	収益的収入	収益的支出	純損失
下水道	3億4050万3千円	3億8484万2千円	4433万8千円
簡易水道	1億1357万4千円	1億2559万2千円	1201万7千円



意見

受益と負担の公平性の観点から、使用料の確保等に努め一般会計繰入金の縮減を！

決算9つの着眼点

議員の **注目** ポイント

1

法人村民税 **2億8242万4千円**

大規模企業の大きな税收減もあり、
令和5年度から 約**4億8751万円**の**減収↓**



2 議会タブレット導入

端末等初期費 約 **413** 万円

年間システム使用料 約 **39万6** 千円

ペーパーレス化のため、令和6年9月議会から導入し1年が経過。
その効果は・・・年間 紙約20万8千枚、印刷コスト約104万円の削減で
印刷に関わる人件費を考えるとそれ以上の効果あり。

意見

コスト削減だけでなく環境CO2排出量にも関係するので、役場全体で更なる活用を。

議場での様子



9.28 (日) 防災訓練も区会の方々が中心となり実施

3 区役員の年額報酬

区長 **10** 万円 区長代理 **7** 万円 組長 **5** 万円

区長は年間200日以上とも言われるなど役員の活動が多く、また近年、役に対する意識の変化もあり、各区で人材確保が難しい状況にある。

意見

各種団体を含め、地域に必要不可欠な団体の担い手確保のためにも、報酬見直し等の取組みをお願いする。

4 クリーンセンター維持・運転管理

約 **3 億 2764** 万円

インバウンド等でゴミ処理量が増加。
エネルギー高騰もあり前年から約8571万円増。

意見

令和14年度、近隣市町村で広域ごみ処理がスタート予定なので、リサイクル含めゴミ出しルールの周知徹底をしていくべき。

建設から34年、修繕費も増加するクリーンセンター



5 ナラ枯れ調査・利活用業務

約 **705** 万円

意見

昨年から薪以外に工芸品の製品化を検討と言っていたが何も進んでいないのでは!?

職員が村長にどんどん提案する動きをしてほしい!

葉が赤褐色になって枯死した被害木 (村内)



6 野生鳥獣保護管理事業 約 **976** 万円

Q1 全国的にクマが出没しているが、村の対応の考えは?

A1 現在被害は確認されていないが、鳥獣保護管理法も改正となったので、猟友会と協議していく。

山中湖村防災アプリ「山中湖村からのお知らせ」の中に「クマ目撃情報」あります。



山中湖ダリア

特産化事業 約238万円

シカ肉を加工したカレー・ジャーキー・ソーセージを製品化。現在ダリア栽培や「山中湖おもてなしの会」が試験栽培しているサンマルツァーノトマトに力を入れている

意見

特産化推進協議会はあるが、広く村民を巻き込んで進めてほしい。
シカ肉のドックフード活用も検討をしてはどうか。

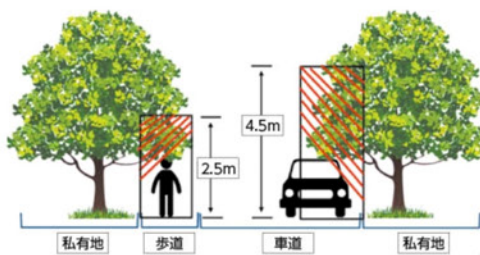
道路橋りょう維持補修

約3612万円

意見

一の堀沿いなど道路に木がはみ出している箇所があり危険。
広報紙で所有者に呼びかけもされているが、事故があつてからでは遅いので更なる対応をお願い。

伐採・剪定が必要となる範囲・赤斜線



広報やまなかこ令和7年8月号P.9から

村内施設の管理

今後、指定管理者の監査も実施へ

施設	方式	業者	年額(円)	留意事項
村営キャンプ	業務委託	(株)地球元気村サービス	1499万4756円	R5・6年度は毎日営業 収入／R5年1339万9千円、R6年1194万3千円
交流プラザ きらら	指定管理/ R5.4月～4年間	ミズノ・レイグループ	5478万円	選定時に提案のあった芸能事務所との連携が されていない。→ 履行されるよう強い申し入れを!
情報創造館	指定管理/ R6.4月～4年間	シダックス大新東 ヒューマンサービス(株)	3132万3600円	水曜休み、19時閉館としたが特に問題なし。

山中湖村 過去3年間の財政をみる

監査委員 審査意見



羽田昭徳
代表監査委員

今後、小学校建設という大型事業が控えます。費用対効果を
検証し、とにかく無駄をなくす更なる歳出抑制が重要です。



高村 覚
議会選出監査委員

区分	説明	R4年度	R5年度	R6年度	
財政力指数	1を超えると不交付団体、財政力が強いとされる	0.96	1.33	1.3	☹️
常収支比率	臨時的な財政需要に対する余裕度75%程度が 妥当	73.5%	75.2%	90.3%	☹️
経常一般財源比率	100を超えるほど計上一般財源に余裕あり	133.3%	94.9%	83.4%	☹️
実質公債費比率	公債費による財政負担の程度(小さい方が良い) 早期健全化基準25%	1.8%	1.4%	1.3%	😊

※ 実質赤字比率、将来負担比率はありません。

令和7年度は3年ぶりに国から普通交付税(0.5億円)を受けとる交付団体となります。(村民税法人
税割の減が主要因) 不交付団体は全国に85自治体があり、県内は昭和町と忍野村の2町村です。

(仮称) 山中湖小学校イメージ図
鉄筋コンクリート(一部鉄骨)造、地上3階建
建築面積4708.76㎡・延床面積8255.03㎡

◎ 小学校統合、次のステップへ

実施設計費ほか 約 **2億6101万9千円**

新設小学校の建設に向けた基本設計が終了し、
10月16日には住民説明会(学校施設の概要等)が行われ
ました。今後は次の業務が実施されます。

- ・詳細設計
- ・土壌汚染対策法、汚染状況詳細調査
- ・富士山景観配慮条例許可認可申請
- ・放課後児童施設建設のため、隣接地の建物解体と用地購入



◎ 「山中湖村公民館交流センター」リニューアルへ

追加設計費 **600万円**

リニューアル工事に向け令和6年度から設計業務を実施
中だが、更なる活用を目指し新たにステージ拡張や放送
室・舞台照明等を改修するための設計が行われます。



議員の指摘

「当初から全体計画をしっかり
立てて行こうべき!留意を。」



43年が経過「山中湖村公民館交流センター」講堂

令和7年9月定例会で成立した

**補正予算
ピックアップ**
新たな業務の実施へ

◎ 「紅富士の湯」施設を守るため

実施設計費 **855万8千円**

平成10年7月オープン、平成27年リニューアルし
ている山中湖温泉「紅富士の湯」が調査の結果、
サッシ及び浴室天井板の改修が必要となり、安全の
ため早期に工事発注できるよう詳細設計が実施さ
れます。工事は休館して4か月を要する見込みです。



27年が経過「紅富士の湯」大浴場





委員会レポート

総務常任委員会

テーマ 「防災に関して」

令和7年9月2日(火)
経過報告:高村 清委員長

今回は役場で防災を担当する総務課長、危機管理係長、防災専門官にお越しいただき、これまで十分に把握ができていない「民間の防災対策(マンション・ホテル・別荘地・キャンプ場など)」のアンケートを実施するため内容を協議しました。

村を訪れる皆様を1人も取り残さないためにも、今後はアンケート結果をもとに「防災分野における村と民間の連携した取組み」への議論を進めていきます。



各地区に多くの
マンション・ホテル等があります



いっしょに学ぼう

Vol.10

常任委員会とは？

行政が多様化・専門化してくると、本会議のみでは多数の議案の能率的な処理や議員がその全てに通じることが難しくなるため、その補完として都道府県・市町村の議会では条例で常任委員会を設置することができますとされています。



内容により関係者にもお越しいただき
委員会を開催しています

常任委員会の主な権限

● 所管の村の事務に関する調査

▶ 実態を確認するだけでなく、問題点に対する改善・対応策を結論づけます。

● 議案、請願等の審査

▶ 【可決・修正可決・否決】【採択・不採択】いずれがよいか結論を出します。

● 所管に属する議案提出(条例、会議規則、意見書、決議など)

● 特定テーマの調査研究

▶ 必要な場合は、手続きにより議会閉会中も継続して行います。



山中湖村議会では、次の2つの常任委員会が設置され、議員はどちらかの委員会に所属しています。
(任期は4年)

	所管	委員長	副委員長	委員			
総務 常任委員会	総務課、税務住民サービス課、福祉健康課、教育委員会	高村 清	羽田 浩	樋口 重喜	梶浦 和朗	羽田 英児	高村 盛雄
観光経済 常任委員会	村未来政策課、村土整備課、村民生活環境産業課、観光課	長田 一彦	堀内 康雄	高村 理三郎	高村 富三人	高村 覚	高村 明成

観光経済常任委員会

令和7年9月10日(金)
経過報告:長田 一彦委員長

テーマ 「観光・産業の実態把握に関して」

観光課でモバイル空間統計手法による精度の高い観光客調査を実施しており、このたび「山中湖村の国内観光客と訪日外国人の定量分析」が次のとおり報告されました。(抜粋)

山中湖村／観光入込客数(人)

	国内			訪日のみ			合計
	日帰り客	宿泊客	計	日帰り客	宿泊客	計	
2020(R2)	387,045	333,775	720,820	6,943	26,710	33,653	754,473

新型コロナ5類移行

2023(R5)	641,408	625,388	1,266,796	46,888	155,062	201,950	1,468,746
2024(R6)	646,452	648,162	1,294,614	137,278	227,600	364,878	1,659,492

やはり訪日外国人が大きく増加しており、令和7年6月議会で高村明成議員が一般質問した「オーバーツーリズム問題」の弊害も危惧され、本村でも真剣に考えるべきと判断し委員会で研究していくことを決定しました。



今年G.Wの富士山山中湖バス停の様子

寄せられた 村民の皆様の声 紹介

村議会では、皆様の建設的なご意見をお聞きする取組みを行っています。(裏表紙) いただいたご意見の一部を紹介します。

抜粋要約



山中地区

「村内の調剤薬局が4月末で閉店してしまい、不安を抱いています…」

平野診療所でオンライン服薬指導サービスがスタートしました。診療所内の個室でビデオ通話で対面と同じように薬の説明や相談を受けることができますので、ぜひご利用ください。難しい操作はなく平野診療所で完結し、最短翌日に郵送でご自宅までお薬が届きます。お支払いは現金またはPayPayが可能です。

詳しくは平野診療所(TEL0555-28-7510)までお気軽にご相談ください。



平野診療所
ホームページ



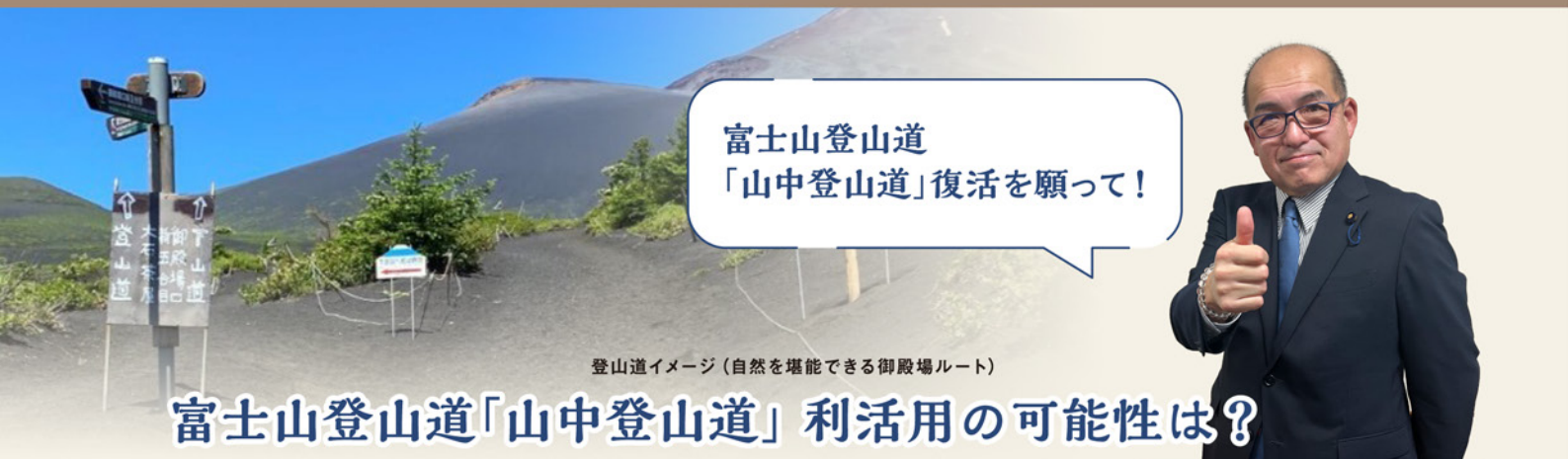
診療所で薬のお話ができます。



ご自宅に薬の配送ができます。



担当課から



登山道イメージ（自然を堪能できる御殿場ルート）

富士山登山道「山中登山道」利活用の可能性は？

高村 覚 議員

Q1

山梨県では各自治体から延びる富士山登山道の再整備と利活用を進め、インバウンドを中心に新たな観光資源に展開させたいとの構想があり、現在の登山道のほか麓からの徒歩ルートとしては吉田ルートに繋がる「吉田口登山道」「精進口登山道」があったと聞いている。

山中湖についても「山中登山道」という名前を耳にし、山中湖公民館交流センターの裏手にある公園墓地の脇に、山中区で整備した登山道の説明板が立っている。経路としては口留番所の脇から溶岩ふちを通して山の神に向かい、そこから演習場内を小富士に向かって登り須走登山道と交流して富士山頂に向かうようであるが、山中登山道の認識や利活用の可能性について伺う。

山中登山道が過去にあった事は承知している。山梨県が進める富士山登山道の再開発や利活用の構想は、新たな観光資源の創出を目的で地域活性化の観点からも大変意義のある取組であると考えている。しかしながら、山中登山道の利活用は北富士演習場内に存在しているで、利用制限があり立入日でしか散策することが出来ない。

また、一部が富士吉田市の行政区域で村としては積極的に利用ができない状況である。過去にも第2次～第5次の北富士演習場使用協定にて山中登山道に関して要望を行ったが、着弾区域との関連から困難であると回答を得ているので理解願いたい。

Yamanakako Village

村の考え 一般

A1

※要旨は、各議員が



村長

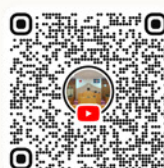
再質問・要望

Q2

山中登山道が過去に存在したこと、制約等があり利活用が現状困難であることを認識した。先日、演習場の立入日に車で舗装されている山中林道を約12キロ走り小富士近くまでは車で行けることが確認できた。

防衛省、富士吉田市と折衝され山中登山道が復活することを要望する。

議会のYouTube配信
をしています！



山中湖村ホームページ内で「議会」検索

開かれた議会を推進するため、令和5年度から定例会（村長所信、一般質問）を配信中です。
一般質問の全内容については、YouTubeをご覧ください。





樋口 重喜 議員

この村は、元々別荘、
スポーツ民宿、保養所という
『富士山麓の静かなリゾート地』
として出発したことを忘れないで！

観光地 ＜刺激＞

- ・五感を刺激する要素に満ちている
- ・日常生活を離れ、異なる「刺激」を求める
- ・短期滞在 消費額の低迷

リゾート地 ＜弛緩＞

- ・日常生活のストレスから解放され、心身を休める
- ・心身の「弛緩」と「回復」を促す時間と空間
- ・長期滞在 リピーター

軸足を定めて成功した事例

- ◎ 軽井沢・古くからの避暑地。単なる別荘地にとどまらず、ショッピングモール、「リゾート体験」を創出。自然と調和した高級宿泊施設、「長期滞在」や「ワーケーション」のニーズにも応え、高付加価値なリゾート地へと進化した。
- ◎ 沖縄・かつて団体旅行が主流だったが、質の高いリゾートホテルやウェルネス体験を導入することで、個人旅行や長期滞在のリゾート地へとブランドを確立した

本村はもともとリゾート地の要素からスタート ～ 原点回帰への提案 ～

(仮) リゾート推進協議会
産・官・学一体で戦略策定

おもてなしのプロ養成
リゾート・コンセルジュ育成

「リゾート地化成功への鍵」

「行政が明確なビジョンを持って環境を整備し、その環境下で活動する事業者や人材が、質の高いサービスを提供するという協力体制」(全村リゾート化)

見る観光地から満たす リゾート地へ

Q1

- ①現在、本村の観光政策は、『観光地』と『リゾート地』のどちらに軸足を置いて進めているとお考えか？そして、その現状に、村としてどのような課題認識をお持ちか？
- ②多くの村民の声は、本村の観光事業に『どっちつかずの閉塞感』があるように感じている。この現状をどのように認識しその閉塞感から脱却するためには、何が最も重要だとお考えか？

- ①山中湖村は、「観光地」も「リゾート地」も両方の要素があり、私は、観光地とリゾート地の2つの観点で本村の観光振興施策を進めていきたいと思っている。
- ②私は、観光の閉塞的なところからは脱却したと考えている。
新型コロナウイルス感染症対策に追われる中、観光経済を回復させる観光施策として数々の施策を進めてきた。
昨年の観光入込客数が165万人で8年前以降、過去最高であり、宿泊客の旅行単価が29,105円、日帰り客が2,395円で、旅行消費額は274億円となっている。



村長

A1

再質問

Q2

「両方の軸足」という言葉こそが、村の将来に「どっちつかず」という本質的な課題を残しているのではないかと「観光」とは「刺激」であって、新しい発見や感動を求め、短い期間で多くの場所を効率よく巡る。「リゾート」とは「弛緩」であって心身を休め、ゆったりと時間を過ごすことに価値を置く。本村はそもそも「リゾート」としてスタートした歴史にある。軸足を定めて成功した事例や中途半端で失敗した事例等を示し、リゾート地として持続可能な施策を2案を示す。

提案を含め、十分検討してまいりたい。



村長

A2





ハリモミ純林を残しながら、
将来のため利活用しよう。



村の重要なカギを握る「ハリモミ純林」

高村 盛雄 議員

山梨県知事が掲げる富士五湖首都圏自然フォーラム

Q1

県知事が提唱している「富士五湖自然首都圏フォーラム」は、観光リゾートの富士五湖の自然を新たな自然首都圏に発展させることを目的に、産官民学の協働組織体として設立された。国際フォーラムなど日本と世界を結び付けるような取り組みにすることで山中湖の将来が期待できる。

ハリモミ純林には山中住民の民地約72筆もあるので、この度の県知事が提唱している開発促進に、この民地の有効活用ができないか検討することはどうか。

富士五湖自然首都圏フォーラム構想は本年度より県で関連イベント開催予定で、これから実現に向け進捗していくと確信される。知事との意見交換で将来を見据え本村からの提案組み入れをお願いしており、今後、県でワーキング部会等が設置された際は検討を要望するが、ハリモミ純林の利活用は以前にも回答したとおり、民有地を除く大部分は法律で原則開発等は許可されていない。

民有地の開発は隣接する特別保護地区等との関係や、森全体の保全維持の観点からクリアすべき条件が多々あるが、引き続き有効活用の可能性を探りたい。

A1



村長

一市二村道路について

Q2

村の最重要課題であるこの道路だが、特に山梨県に働きかけハリモミ純林を利用した道路の建設計画を進めることを要望したいがどうか。

令和7年6月の樋口議員の質問でも答弁したが、この事業は一朝一夕で進むものではなく、地域住民の利便性はもとより広域的な防災道路としての重要性を持つ道路であると認識している。

ハリモミ純林の利用は越えるべきハードルがいくつもあると考えられ、それらを含め山梨県及び関係市町村と協力して取り組んでいく。

A1



村長

令和7年9月 定例会 採決結果

全会一致の議案



議案番号	議案名	主な内容	採決結果
報告 第8号	地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく指標について	令和6年度財政の健全化判断の指標の報告	報告
報告 第9号	教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価について	令和6年度教育委員会の活動・事務の実績報告	報告
議案 第42号	山中湖村吊旗等贈呈条例の一部を改正する条例制定について	文語整理のための改正	可決
議案 第43号	山中湖村監査委員条例の一部を改正する条例制定について	地方自治法の規定との整合性や、より効果的な監査を行うための改正	可決
議案 第44号	和解及び損害賠償額の決定について	イラストの無断使用に伴う損害賠償額856,812円	可決
議案 第45号	令和7年度山中湖村一般会計補正予算について	補正予算(第3号) 2億7703万4千円増額、予算総額58億4456万3千円 歳入／交付団体となり普通交付税5422万5千円 歳出／明神前交差点トイレ設計費、難聴の方のための音声伝達装置購入、小学校整備費等の計上	可決
議案 第46号	令和7年度山中湖村国民健康保険特別会計補正予算について	補正予算(第2号) 93万5千円増額、予算総額7億9605万6千円 子ども・子育て支援システム改修費の計上	可決
議案 第47号	令和7年度山中湖村観光施設特別会計補正予算について	補正予算(第1号) 916万3千円増額、予算総額4614万4千円 石割の湯成分調査、紅富士の湯改修設計費の計上	可決
議案 第48号	令和7年度山中湖村介護保険特別会計補正予算について	補正予算(第1号) 797万7千円増額、予算総額4億4208万5千円 グループホームあんず非常用発電設備(国全額補助)等の計上	可決
議案 第49号	令和7年度山中湖村後期高齢者医療特別会計補正予算について	補正予算(第1号) 134万2千円増額、予算総額2億474万7千円 子ども・子育て支援システム改修費等の計上	可決
議案 第50号	令和7年度山中湖村下水道事業会計補正予算について	補正予算(第1号) 資本的収入・支出4066万7千円減額 村道山中22号線下水道工事が交付金先(防衛→国交省)を変更して次年度の整備となったため	可決
議案 第51号	令和6年度山中湖村一般会計・特別会計歳入歳出決算認定について	令和6年度の一般会計と、国民健康保険・観光施設・介護保険・介護予防支援・後期高齢者医療5つの特別会計の決算を認定するもの	認定
議案 第52号	令和6年度山中湖村公営企業会計歳入歳出決算認定について	令和6年度の下水道と簡易水道2つの事業会計の決算を認定するもの	認定
諮問 第1号	山中湖村人権擁護委員候補者の推薦について	長田知教氏の推薦について、異議なしとする意見	適任
請願 第2号	学校の働き方改革・長時間労働是正の実現のための教職員定数改善と「カリキュラム・オーバーロード」の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充を図ることについて	●請願者 南都留地区PTA協議会 会長 渡邊 敏昭 ◇ 公立小中学校長会 会長 原田 孝雄 ◇ 公立小中学校教頭会 会長 佐藤 堤 山梨県教職員組合南都留支部 執行委員長 小林 康典 ●趣旨 1. 中学校の学級編制基準の引き下げは、教職員定数の実質的な増員で行うこと。 2. 加配の増員など教職員定数改善を推進すること。 3. 学習指導要領の内容の精選を行うこと。 4. 義務教育費国庫負担制度の堅持とともに国負担割合を2分の1に還元すること。 5. 教育条件の格差解消を図るため、地方交付税を含む国における教育予算を拡充すること。 ●紹介議員／高村 明成	採択
発議 第3号	学校の働き方改革・長時間労働是正の実現のための教職員定数改善と「カリキュラム・オーバーロード」の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための意見書案について	2026年度政府予算編成において、教育施策の充実が図られるよう、請願第2号の事項を実施されるよう要望する。 (提出先)衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、文部科学大臣、財務大臣、総務大臣	可決

PICK UP
P.4PICK UP
P.5PICK UP
P.5PICK UP
P.2

村の歴史

Vol.2



過去の大きな災害 年表



大正12年/関東大震災に関する役場の書類(アーカイブス展から)



1633
(寛永10)年



地震

山中湖震度6.0、被害状況不明

1703
(元禄16)年



地震

江戸・関東諸国で震度大、平野村古屋 全壊28戸、寺院全壊1

1782
(天明2)年



地震

山中湖震度6.0、長池村 全壊30戸

1923
(大正12)年9月



関東大震災

全壊90戸、半壊71戸、死者3人、寺院半壊1、学校半壊2、村内70%が被災

1983
(昭和58)年8月



台風5号

14日～18日未明1035^h、床上浸水1戸、床下浸水21戸(大半が平野)、長池～平野サイクリングロード3km水没、湖の水位1.61m上昇

1991
(平成3)年9月



台風18号

平野地区 床下浸水 民宿4・保養所2・住宅1

1996
(平成8)年3月



県東部地震

震源は三国峠付近(M5.8)、特に役場付近の建物で亀裂等が生じた

1998
(平成10)年1月



大雪

積雪120^{cm}

2001
(平成13)年1月



大雪

積雪105^{cm}

過去の災害からみる考察

考察

●山中湖村で想定される自然災害

- ・富士山噴火、地震、土砂災害、水害、大雪、低温による気象災害など。
- ・今後は異常気象やインフラの老朽化によるものなど想定外の災害の増加も懸念されます。

●今後求められること

人口減少・高齢化の加速で地域の持続可能性の確保が深刻な問題です。こうした課題に的確に対応し、安全安心な暮らしを守り、村内各地域の活力の維持がこれから求められます。しかし、国や自治体だけでは限界があり「自助・共助・公助」のうち、**共助(地域の助け合い)いわゆる「地域防災」が非常に重要**になってきます。

●災害に強い地域社会をつくるため

地域全体でどのように対策を進めていくべきかは、次の観点から整理することができるのではないのでしょうか。

自助の促進(個人の備え)

- ・各家庭での防災グッズの備蓄
- ・家族で避難ルートや連絡手段を確認
- ・ハザードマップの確認と理解

共助の強化(地域での連携)

- ・各区会やマンション等の自治会の訓練
- ・お年寄り・障がいのある方など「災害弱者」への支援
- ・防災士の育成、地域リーダーの養成
- ・避難所などの運営協力体制

公助との連携(行政との協働)

- ・村との情報共有や連絡体制の構築
- ・防災計画への住民参加
- ・防災アプリや緊急速報など行政情報の活用
- ・地域で「顔の見える関係づくり」を進める



山中湖村の過去の災害

前号から山中湖村の歴史にスポットをあてた企画をスタートさせ、Vol.1では村にかつて存在した「馬車鉄道」をご紹介します。今回は9月に防災訓練が実施されましたので、さらに防災意識が高まるよう過去に村で発生した災害を年表にまとめました。

(協力/教育委員会 野村学芸員)



昭和26年/雪しろ被害写真(アーカイブズ展から)
この後、水路等の整備が進む



1938
(昭和13)年8月



台風

山中湖の増水が
進む、耕地浸水

1951
(昭和26)年



雪しろ

山中地区

1961
(昭和36)年4月



雪しろ

旭日丘地区
浸水25戸

1977
(昭和52)年3月



雪しろ

旭日丘地区 床上浸
水1戸、床下浸水3戸

2010
(平成22)年9月



台風9号

平野地区
床上浸水 ペンション1、
床下浸水 民宿3



平成26年/大雪の状況 (左) 改修中だった役場庁舎
(右) 東富士五湖道路の入口



2011
(平成23)年3月



東日本大震災

11日 山中湖村
震度5弱

2011
(平成23)年9月



台風12・15号

2度の台風到来、湖の水
位1.9mほど上昇

2012
(平成24)年1月



県東部地震

震源は富士五湖、
山中湖村 震度4

2014
(平成26)年2月



大雪

8日に降った積雪63cmに加え、14日
未明～15日11時まで降り163cmの記
録的積雪となる、役場に災害対策本
部を設置、自衛隊にも支援要請



平成23年県東部地震/
平野・寿徳寺の状況

県東部地震

15日 山中湖村
震度5強



台風15号による山中湖の水位上昇

2011.09.22 / MARUYAMA Takahiro

平成23年台風/湖畔道路まで水位が上昇
(提供:丸山 高弘 様)



平成23年台風/
平野湖畔の状況

結び

これからは、**村が何とかしてくれるのではなく、村民1人ひとりが「自分ごと」として防災を考えていくことが何よりも大切**だと考えます。我々村議会もP.14ページにあるように「議会業務継続計画(BCP)ハンドブック」を策定しました。住民の皆様と行政の橋渡し役として、大きく寄与できるよう努力する所存ですのでよろしくお願いいたします。

なお、年表作成にあたり参考にさせていただきましたが、今年は村制150周年を記念して、村の歴史を振り返る

「山中湖村アーカイブズ展(入場無料)」が「蘇峰ふれあい館」で12月28日まで開催されていますので、

皆様にもぜひ観覧いただければ幸いです。

文責・高村 富三人



議員活動トピックス



＼ 令和7年7月29日(火)30日(水) /

山梨県町村議会 行政調査

全国表彰を受賞した富山県立山町への視察に、本村から羽田英児副議長と、樋口重喜議会運営委員長が参加しました。他町村議員とともに同町の議会改革や観光政策を学び、特に次の2点は大変参考となるものでした。

・災害時議員行動計画の制定 ・立山自然保護特別委員会(黒部アルペンルート、立山開発、自然保護に関する調査)



取り組んでいた議会BCP策定に役立ちました

＼ 令和7年9月 / 山中湖村議会

業務継続計画(BCP)ハンドブックを策定

今年行われた防災に関する議員研修で、大規模災害が発生した場合の議会・議員としての行動指針を定める必要性を感じたことから、総務常任委員会、議会運営委員会で素案を協議、このたび「災害時／議員の行動基準」をまとめ有事に備えていくとしました。

主な内容

- 議員の心構え ●日々の備え ●目指す行動 ●安否確認
- 議会災害対策会議の設置 ●災害情報の収集 等

山中湖村議会
業務継続計画(BCP)
ハンドブック

災害時／議員の行動基準
令和7年9月



Business Continuity Plan

ハンドブックの内容は
随時ブラッシュアップします

＼ 令和7年9月28日(日) /

山中湖村総合防災訓練 参加

今年は、より多くの方が参加できるよう休日の開催となり、場所も各区ではなく山中湖村公民館交流センター1か所で、様々な訓練が実施されました。各種機関のご協力のおかげで有意義な日となりました。

主な内容

- 避難所開設 ●災害用トイレ設置 ●災害用電話体験
- ボランティアセンター設置 ●救命救急講習 ●三角巾の活用
- カレー炊き出し ●地震など災害のVR体験 等

表紙
写真



VRリアルな映像等で
災害の怖さを体験

地域の
悩み

国に届ける活動

桐浦和朗議長・羽田英児副議長がメンバーとなっている南北都留郡町村議会正副議長連絡協議会に「近年、過疎地域から金融機関が撤退して住民が困っている」と小菅村・丹波山村議会から問題提起があり次の活動が行われました。

令和7年
4月

他の町村議会もこの問題を重要視し、同協議会・全7町村の正副議長で協議、要望素案を承認。

5月

山梨県町村議会議長会・全14町村が賛成。
県町村会に要望書を提出し賛同を得る。

6月

県町村会・議長会代表、県選出国議員が総務大臣や金融庁長官に要望書を手交。



「住民の利便性確保と郵便局(ゆうちょ銀行)の利活用推進のための措置を求める要望」

内容

過疎地域での郵便局の安定的な存続、団体口座開設の手続き簡素化 等



(令和7年7～9月)
※各組合議会等は除く

切り取り線

(議会だよりの感想やご意見でも構いません)

切り取り線

※入手困難な方は、議会事務局にご相談ください。

はがき(返信)



4 0 3 - 8 7 9 0

山梨県南都留郡山中湖村
山中237-1

差出有効期間
令和9年7月
31日まで
<切手不要>

山中湖村議会 行き



村民の皆様の声をお聴かせください
(議会だよりの感想・ご意見もお寄せください)

記入、○印をつけて投函してください。

- お名前: _____
- お住まいの地区: 山中・平野・旭日丘・長池・沖新畑・村外
- 性別(任意) : 男性・女性・未回答
- 年代(任意) : ____歳代

切り取り線

編集後記

日暮れが早くなり、秋の深まりを実感する頃になりました。今回の議会だよりはいかがでしたでしょうか?

テーマの1つとして「山中湖村の防災について」を掲げ、過去の震災・災害についても掲載しました。現在、総務常任委員会でも防災について継続調査をしています。いつくるか南海トラフ地震、そして連動されるといわれている富士山噴火、未知の世界であります。村民の皆様の財産・生命を守るに対して想定外は許されることはありません。

今回も、委員、事務局、そして取材にご協力いただいた皆様のおかげで、無事議会だよりを発行することができました。心より感謝申し上げます。

編集作業は、毎回 多くの発見と学びがありますので、次号ではさらに充実した内容をお届けできるよう努めてまいります、ご期待ください!

広報編集副委員長 羽田 浩



令和7年11月27日(木)発行
発行/山中湖村議会
編集/広報編集委員会

●お問い合わせ
山中湖村議会事務局 電話0555-62-3166
〒401-0595 山梨県南都留郡山中湖村山中237-1

山中湖村議会の取り組み 村民の皆様の



お待ちしています



議会活動に反映させるため、皆様の建設的なご意見や、議会だよりの感想・取り上げてほしい内容をお聴きする取り組みを行っています!
目的をご理解いただき、お名前は必ず記入をお願いします。(P.7をご覧ください)

ハガキもしくはQRコードからお願いします

QRの場合
利用者登録は必要ありません



議会を傍聴しませんか?

次の定例会は12月9日(火)に開催予定



どなたでも傍聴できます!

※日程や議会情報はこちらから
山中湖村ホームページ(議会)
(または議会事務局にお問い合わせください)



「山中湖村防災アプリ」

からもご覧いただけます。
便利ですので、ぜひダウンロードを!



android



iOS



こちらから